

fidata HFAD10-UBX の導入(8)

—CD 再生(2)—

1. はじめに

前報(4)に引き続き、CD 再生の音質を評価します。

2. fidata HFAD10-UBX の試聴情報

接続は、前報(1)のとおりです。

HFAS1-S10←HFAD10-UBX (to Host B 端子)

HFAD10-UBX (to Device for Audio A 端子) →Brooklyn DAC+

試聴対象の CD は、お馴染みの下記のものとしてします。

DENON COCQ-84904-6

バッハ マタイ受難曲

ルードルフ・マウルスベルガー指揮ライブチツヒゲヴァントハウスオーケストラ

ARCHIV POCA-2009-10

バッハ ミサ曲口短調

カール・リヒター指揮ミュンヘンバッハ管弦楽団

ERATO WPCS-4838-40-

バッハ カンタータ全集第 2 巻

トン・コープマン指揮アムステルダムバロック管弦楽団

3. fidata HFAD10-UBX の試聴結果

マタイ受難曲は 1970 年録音、ミサ曲口短調は 1961 年録音、カンタータ全集は 1995 年録音であり、録音年代やレーベルに対応して、Brooklyn DAC+での位相反転を試みます。

マタイ受難曲は、教会録音のアナログマスターの雰囲気再現しており、ソリスト達の歌唱は伸び伸びと全面に張り出しています。Brooklyn DAC+で位相反転させますと、ソリストの定位がよくなり、歌唱の焦点があってきますし、合唱の濁りが解消します。ミサ曲口短調は、古い録音ですが、予想外にアナログマスターの雰囲気をフレッシュに再現しており、古楽器の質感も十分に表現されています。Brooklyn DAC+で位相反転させますと、ソリストの歌唱位置の定位がよくなり、歌唱の焦点があってきます。カンタータ全集第 2 巻は、カンタータが 16 曲収められています。録音年代が上記 2CD より新しいだけあって、非常にクリアな音で解像度もよく、いかにもデジタル録音のようで、位相反転しなくても定位がしっかりしています。

いずれもこれまでの USB ハブを介する PC 用ドライブからの再生とはディテールの再現や質感表現で大きく差をつけており、古い録音の CD も蘇ったように鳴り出しました。

4. まとめ

HFAS1-S10 と HFAD10-UBX の組み合わせによる CD 再生は、これまでの HFAS1-S10 と PC 用ドライブと USB ハブの組み合わせによる CD 再生と一線を画すものです。古いアナログマスター時代からの CD は、位相反転により、音の焦点があって定位が明瞭になります。

以上